

ラトビア月報

【2018年7月】



2018年（平成30年）9月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ウシャコウス「調和」党首は国政選挙に出馬せずリガ市長職を継続（P. 1）

【経済】

- ・ラトビアの労働市場に関するIMF見解とクチンスキス首相の発言（P. 2）

【外交】

- ・トルドー・カナダ首相の来訪及びカナダ軍の派遣延長（P. 3）

【その他】

- ・リガにおける「第26回歌と第16回踊りの祭典」開催（P. 4）

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

—政治—

【今月の注目記事】

◆ウシャコウス「調和」党首は国政選挙に出馬せずリガ市長職を継続

7月6日、ウシャコウス「調和」党首（リガ市長）は今般の国政選挙及び来年の欧州議会選挙に立候補しないと述べ、リガ市での活動を続ける意向を示した。

◆6月の政党支持率

7月3日、ラトビアの支持政党に関する2018年6月の世論調査結果が以下のとおり発表された。（民間調査会社「SKDS」が実施したもので、「明日、国会選挙が行われるとしたらどの政党に投票するか」という問いに対する回答。）

政党名	支持率（%。括弧内は5月の値）
「調和」（最大野党：親露系）	21.0(19.1)
「緑と農民連合」（連立与党：中道右派）	14.4(14.6)
「ナショナル・アライアンス」（連立与党：右派）	6.1(7.0)
「発展・For!」（4月に結成された政党連合）	4.7(3.0)
「KPV LV」（国会に議席なし）	4.4(3.0)
「新保守党」（国会に議席なし）	4.0(2.4)
「新・統一」（連立与党：中道右派）	2.7(3.7)
「ラトビア地域連合」（野党：右派）	1.7(1.7)
「心からラトビアのために」（野党：左派）	1.5(1.6)
「ラトビアのロシア連合」（親露系、国会に議席なし）	1.2(1.2)
（支持政党を決めていない）	23.7(27.5)
（投票しない）	13.2(13.7)

◆「新・統一」提案の党書に対する各党の反応

(1) 6月に「新・統一」が「親クレムリン政党」と協力しない旨の党書に署名するよう各党に呼びかけていたが、7月17日、ブリグマニス「緑と農民連合」国会議員団長は同党書への署名を拒否した。これに関し、「調和」と「緑と農民連合」が連立政権を組むとの噂が出ていたところ、7月23日、ウシャコウス「調和」党首は、国政選挙後に「調和」と「緑と農民連合」が連立政権を組むことは政策上困難であると述べた。

(2) 7月31日、「ナショナル・アライアンス」は、「新・統一」提案の党書に関し、声明を出した。その内容は、2012年2月に行われたロシア語を第二公用語とすることがどうかを問う国民投票の際に、ロシア語を公用語とすることを直接的・間接的に支持した政党との協力もしない旨明記すべきであり、「親クレムリン政党」の伸張を抑えるためにも潜在的な連立相手の政党と選挙運動において協力し合うべきだとするものであ

る。

◆第13回国会選挙の候補者名簿受付開始

7月18日、中央選挙管理委員会は10月6日に実施される第13回国会選挙の候補者名簿の受付を開始した。締め切りは8月7日である。第13回国会選挙には、選挙日の1年より前に登録済みである政党又はその政党より構成される政党連合であり、かつ、メンバーが500人以上所属する政党または政党連合が立候補することができる。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアの労働市場に関するIMF見解とクチンスキス首相の発言

7月2日、ラトビア訪問中のペトロヴァIMFラトビア・ミッション代表は、ラトビアの限定的な労働市場が中長期的にラトビアの成長を阻害する可能性があるとして述べた。

7月3日、クチンスキス首相は、このIMFの見解に反論し、ラトビアに安価な労働者を入れることについて議論するのは時期尚早であり、既存のリソースをより効率的に使う方法及び海外流出した専門家を呼び戻す方法を考えるべきであると述べた。

◆「RB Rail」社のCEO選任に関する人材エージェントを公募

7月3日報道によると、ルベサ「RB Rail」CEOの任期が今年10月で終了することから、6月15日、「RB Rail」社は同社CEOの雇用をサポートする人材エージェントの公募を開始した。

これに対し、7月3日、クチンスキス首相はルベサCEOが同職を継続するべきであるが、この決定はラトビアが単独で行うことはできない旨のコメントを発表した。

◆6月の消費者物価上昇率は2.8%

7月10日、中央統計局は、2018年6月の消費者物価上昇率が対前年同月比2.8%だったと発表した（物品価格は2.5%上昇、サービス価格は3.3%上昇）。過去12か月間の平均物価上昇率は2.4%だった。部門別では、石油製品（対前年同月比17.5%）、住宅関連（4.3%）、アルコール飲料・タバコ（5.2%）などで物価の上昇が見られた。

◆2018年上半期のリガ空港旅客数は18.2%増加

7月10日の報道によると、2018年上半期にリガ空港を利用した旅客数は対前年同期比18.2%増加し約325万人となった。また、同期間のフライト数は対前年同期比15.1%増加し約4万便となった。なお、2017年のリガ空港の旅客数は過去最高の610万人を記録している。

◆2018年第1四半期のエア・バルティック利用者数は19.9%増加

7月17日、エア・バルティック社は、2018年上半期に同社を利用した乗客数は対前年同期比19.9%増加し188万人となったと発表した。フライト数は26,579便（対前年同期比13.3%増）、座席利用率は73%（変化なし）だった。

◆ラトビア中国間の直行便は10月に就航見込み

7月23日、リーツェ・リガ国際空港CEOはテレビのインタビューで、ラトビア・リガと中国・海南省間を結ぶ直行便が本年10月にも就航される見込みであり、ラトビア側の必要な手続きは完了している旨述べた。

◆2018年第2四半期の実質GDP成長率は5.1%（速報）

7月30日、中央統計局は、第2四半期の実質GDP成長率（対前年同期比）は5.1%を記録したとの速報を発表した。対前期比成長率は0.8%だった。確報は8月31日に発表される。

—外交—

【今月の注目記事】

◆トルドー・カナダ首相の来訪及びカナダ軍の派遣延長

7月10日、トルドー・カナダ首相がラトビアを訪問し、ベーヨニス大統領及びクチンスキス首相と会談した。トルドー首相は、ラトビアに展開するNATO大隊を主導するカナダ軍を次の4年間も派遣する旨表明した。カナダ軍の派遣は2019年秋までの予定であったが、これが2023年まで延長された。ベーヨニス大統領及びクチンスキス首相はカナダの貢献に感謝の意を表するとともに、延長を歓迎した。

◆マッタレラ・イタリア大統領の来訪

7月3日、マッタレラ・イタリア大統領はラトビアを公式訪問し、ベーヨニス大統領と会談を行った。会談の中で、ベーヨニス大統領は、安全保障、経済、文化、科学及び教育などの分野で、地中海とバルト海を結ぶ強靱な橋をかけなければならないと述べた。

◆スロバキア軍から152名が、ラトビアに展開するNATO大隊に参加

7月3日、スロバキア軍から152名の兵士が、ラトビアに展開するNATO大隊へ参加した。

◆リンケービッチ外相のルーマニア訪問

7月5日から6日にかけて、リンケービッチ外相はルーマニアを訪問し、ヨハニス大統領、ダンチラ首相及びメレシュカーヌ外相と会談した。訪問中、リンケービッチ外相は、ラトビアとルーマニアがEUの将来に関して様々な点で共通のビジョンを有していると述べ、EU多年度予算における結束基金及び共通農業政策における立場の調整を二国間で緊密に行っていくことを呼びかけた。

◆クチンスキス首相の「16+1」首脳会合出席及びルーマニア首相との会談

7月7日、クチンスキス首相は「16+1」首脳会合に出席するためにブルガリアを訪問した。その際、クチンスキス首相は、会合の場裏でダンチラ・ルーマニア首相と会談し、ハイレベル経済フォーラムの立ち上げ及び旅客航空分野における協力について協議した。

◆中曽根弘文参議院議員の来訪

7月7日～11日の間、中曽根弘文参議院議員（日・ラトビア友好議員連盟会長）はラトビアを訪問した。

中曽根弘文参議院議員は、7日の「踊りの祭典」及び8日の「歌の祭典」最終日のコンサートに、各国の国会議長や国会議員とともに出席した。同議員は、9日、クチンスキス首相と会談し、二国間関係、日EU・EPA、9月に予定されているJETROミッションのバルト三国訪問及び北朝鮮問題等に関して協議した。10日にはムールニエツェ国会議長と会談し、二国間関係及び国際情勢等に関して話し合った。また、同日リンケービッチ外相と会談し、二国間関係、国際機関の枠組みにおける協力、日EU・EPA及び北朝鮮問題等に関して協議した。

◆ベーヨニス大統領のNATOブリュッセル・サミット出席

7月11日～12日の間、ベーヨニス大統領はブリュッセルを訪問し、NATOブリュッセル・サミットに出席した。11日、各国首脳はバルト海地域における空軍・海軍の戦力強化支援に関して合意した。

12日、同サミットの枠組みで、ベーヨニス大統領はパシニャン・アルメニア首相と会談し、二国間関係、EUアルメニア関係及びアルメニアの構造改革等に関して協議した。ベーヨニス大統領は、特に、司法、法の支配及び経済部門におけるアルメニアの構造改革に支持を表明した。

◆ベーヨニス大統領のウェストファーレン平和賞授賞

7月13日～14日の間、ベーヨニス大統領はドイツのミュンスターを訪問し、14日、カリュライド・エストニア大統領及びグリボウスカйте・リトアニア大統領と共に、地域における平和的・民主的発展に貢献したとしてウェストファーレン平和賞を受賞した。

◆リンケービッチ外相のEU外務理事会出席

7月15日～16日の間、リンケービッチ外相はブリュッセルを訪問し、16日、EU外務理事会に出席した。同理事会では、「20 Deliverable for 2020」（2009年に開始されたEU及び東方パートナーシップ諸国の関係強化を目的とした共同政策イニシアチブ）の実行、2017年のEU東方パートナーシップ首脳会合で承認された文書及び今秋予定されているEU東方パートナーシップ外相会合の準備等に焦点が当てられ、EU多年度予算及びリビア情勢等についての議論も行われた。

◆ムールニエツェ国会議長の年次NB8国会議長会合出席

7月19日、ムールニエツェ国会議長はアイスランドを訪問し、年次のNB8国会議長会合に出席した。各国国会議長は安全保障及び東方パートナーシップ等を含む地域問題並びに国会間の協力等について協議した。

◆マケイ・ベラルーシ外相の来訪

7月19日、マケイ・ベラルーシ外相はラトビアを訪問し、リンケービッチ外相と会談した。リンケービッチ外相は、経済関係等の実務的な内容を協議するラトビア・ベラルーシ間の政府間委員会が計画されており、適当な準備が整えば、ルカシェンコ大統領のラトビア訪問も近い将来に実現するであろうと述べた。

◆ボチュウェイ・ガーナ外相の来訪

7月19日～20日の間、ボチュウェイ・ガーナ外相はラトビアを訪問し、20日、リンケービッチ外相等と会談した。両者は二国間関係、国際機関の枠組みにおける協力、EU・アフリカ連合関係、アフリカ大陸における中国の影響力拡大等に関して協議した。両外相は、二国間の交換留学や貿易を拡大するため、更なる協定を締結する必要があるとの点で見解が一致した。

—その他—

【今月の注目記事】

◆「第26回歌と第16回踊りの祭典」開催

(1)「第26回歌と第16回踊りの祭典」は7月8日に閉幕した。祭典最高責任者によれば、全土で約50万人が関連行事に参加した。

(2)日本ラトビア音楽協会の「ガイスマ」混声合唱団が1日の開会パレードに参加し、7月3日及び4日にはリガでコンサートを開催した。

◆女子テニス・ブカレスト・オープンでラトビアのセバストバ選手が優勝

7月22日、女子テニス・ブカレスト・オープンのシングルス決勝が行われ、ラトビアのアナスタシア・セバストバ選手（28）がクロアチアのペトラ・マルティッチ選手を7-6, 6-2で破り、優勝した。セバストバ選手は、現在、WTAランキングで第22位。

◆男子ビーチバレー・ヨーロッパ選手権でラトビアは準優勝

7月23日、男子ビーチバレー・ヨーロッパ選手権の決勝が行われ、ラトビアのヤーニス・シュメーディンシュ選手及びアレクサンドルス・サモイロウス選手はノルウェーのチームに0-2で敗北し、銀メダルを獲得した。ラトビアの選手が同選手権において銀メダルを獲得するのは2013年、2014年、2017年に引き続き4度目であり、2015年には金メダル、2010年には銅メダルを獲得している。

◆バルト海の海面水温が最高温度を記録

7月26日、コルカ岬においてリガ湾の海面水温として記録開始以来最高となる26.6度を記録した。7月25日にはデンマーク気象研究所が現在のバルト海の海面水温は18～24度であり、平均より5度以上高く、現在の温度と平均温度の差は世界で一番大きいと発表したことが報道されていた。

以上

2018年7月の主な出来事

	【内政】	【外交】
7月	<p>18日, 第13回国会選挙の候補者名簿受付開始</p>	<p>3日, マッタレッツァ・イタリア大統領来訪</p> <p>3日, スロバキア軍の152名がラトビアに展開するNATO大隊に参加</p> <p>5～6日, リンケービッチ外相ルーマニア訪問</p> <p>7～11日中曽根弘文参議院議員来訪、ムールニエツェ国会議長等と会談、「第26回歌と第16回踊りの祭典」出席</p> <p>7日, クチンスキス首相ブルガリア訪問、「16+1」首脳会合出席</p> <p>10日, トルドー・カナダ首相来訪及びカナダ軍の派遣延長</p> <p>11～12日, ベーヨニス大統領NATOブリュッセル・サミット出席</p> <p>13～14日, ベーヨニス大統領ウェストファーレン平和賞授賞(ドイツ)</p> <p>15～16日, リンケービッチ外相EU外務理事会出席(ブリュッセル)</p> <p>19日, ムールニエツェ国会議長年次NB8国会議長会合出席(アイスランド)</p> <p>19日, マケイ・ベラルーシ外相来訪</p> <p>19～20日, ボチュウエイ・ガーナ外相来訪</p>

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	17,938	20,303	21,886	22,787	23,618	24,320	24,926	26,857	6,304	7,279	中央統計局
国民一人当たりGDP	ユーロ	8,553	9,861	10,762	11,321	11,843	12,300	12,721	13,855	-	-	中央統計局
GDP実質成長率	%	▲ 3.9	6.4	4.0	2.4	1.9	3.0	2.2	4.5	4.0	-	中央統計局

財政収支, 政府債務残高

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 1,558	▲ 874	▲ 264	▲ 264	▲ 352	▲ 331	15 (暫定)	▲ 131	▲ 260	-	中央統計局
財政収支対GDP比	%	▲ 8.7	▲ 4.3	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 1.4	0.1 (暫定)	▲ 0.5	-	-	中央統計局
政府債務残高	百万ユーロ	8,402	8,663	9,020	8,893	9,669	8,953	10,092 (暫定)	10,782	9,766	-	中央統計局
政府債務対GDP比	%	46.8	42.7	41.2	39.0	40.9	36.8	40.5 (暫定)	40.1	-	-	中央統計局

失業率, インフレ率, 月額平均賃金

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
失業率(15-74歳)	%	19.5	16.2	15.0	11.9	10.8	9.9	9.6	8.7	8.2	7.7	中央統計局
インフレ率	%	▲ 1.1	4.4	2.3	0.0	0.6	0.2	0.1	2.9	2.0	2.4	中央統計局
平均賃金(グロス)	ユーロ	633	660	685	716	765	818	859	926	961	1,004	中央統計局
平均賃金(ネット)	ユーロ	450	470	488	516	560	603	631	676	712	743	中央統計局
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	256	285	285	285	320	360	370	380	430	430	中央統計局
世帯一人あたり可処分所得	ユーロ	286	305	320	354	387	417	437	-	-	-	中央統計局

海外直接投資(FDI)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	8,184	9,360	10,258	11,570	12,415	13,543	13,456	14,370	14,911	14,838	中央銀行

貿易統計

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	6,680	8,535	9,871	10,021	10,249	10,363	10,358	11,500	2,893	3,067	中央統計局
輸入(CIF)	百万ユーロ	8,412	10,983	12,512	12,635	12,654	12,492	12,249	14,042	3,431	3,754	中央統計局
貿易収支	百万ユーロ	▲ 1,732	▲ 2,448	▲ 2,641	▲ 2,614	▲ 2,405	▲ 2,129	▲ 1,891	▲ 2,542	▲ 538	▲ 687	中央統計局

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	33,634	34,792	34,615	44,091	32,989	39,592	48,524	50,526	12,168	13,659	中央統計局
日本からの輸入	千ユーロ	7,463	16,975	14,050	12,044	13,418	20,405	18,974	22,282	5,368	7,843	中央統計局
対日貿易収支	千ユーロ	26,171	17,817	20,565	32,047	19,571	19,187	29,550	28,244	6,800	5,816	中央統計局

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	3,458	4,050	4,908	5,054	5,240	6,386	5,523	7,573	1,841	2,250	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	4,609	4,587	8,761	6,658	6,235	7,217	9,291	8,017	2,086	2,142	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,151	▲ 537	▲ 3,853	▲ 1,604	▲ 995	▲ 831	▲ 3,768	▲ 444	▲ 245	108	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	出典
ラトビア→日本	人	875	495	807	996	1,315	1,685	2,016	2,547	577	795	日本入管統計
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	5,428	5,843	7,322	8,988	15,606	21,575	23,191	24,576	3,948	10,476	中央統計局

(注) ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2018年8月末現在, 1ユーロ=130円程度。